教員特別研究（その他研究）成果報告書　配分研究費：1,454千円（平成30年度～令和3年度）

浜松市天竜区春野町における民間口承文芸(昔話)の採録調査

目的・概要

浜松市天竜区春野町における民間口承文化財（民話）の採録調査およびその記録と保存を目的とする。
地域に伝わる伝説や家庭に受け継がれた昔話は無形の文化財であり、その土地に生きた人々の「心と記憶の遺産」である。
採録した民話は学術的な位置付けや記録価値を検証し、「方言のまま」「語りのまま」に翻字・記録する。伝承地域の解説などを書き添えて、市販向けの書籍として刊行する。

期間

平成30年4月1日～令和4年3月31日

研究担当者

文化政策学部　国際文化学科　教授　二本松　康宏

スケジュール

平成30年度	春野町熊切地区での採録調査と『春野のむかしばなし』の刊行
令和元年度	春野町犬居地区での採録調査と『春野の昔話と伝説』の刊行
令和2年度	春野町和泉平、犬居等での調査と『北遠の災害伝承ー語り継がれたハザードマップー』の刊行
令和3年度	春野町杉・川上地区での採録調査と『春野の山のふしぎな話』の刊行

研究成果

（1）春野町熊切地区において前期11ヶ日の採録調査と後期10ヶ日の補足調査を実施。69名の語り手から昔話49話、伝説88話、世間話93話、言い伝え59話、計289話を採録。
（2）春野町犬居地区において前期11ヶ日の採録調査と後期12ヶ日の補足調査を実施。52名の語り手から昔話100話、伝説65話、世間話28話、言い伝え20話、計213話を採録。
（3）新型コロナウイルス禍により採録調査を大幅に縮小。和泉平、犬居など6地区において延べ17ヶ日の集中調査を実施。蛇と災害にまつわる伝説6話を再調査。
（4）新型コロナウイルス禍への対応として前期の採録調査の期間を短縮。杉・川上地区において前期8ヶ日の採録調査と後期11ヶ日の補足調査を実施。42名の語り手から「山の怪異」をテーマとして昔話3話、伝説49話、世間話54話、言い伝え39話、計145話を採録。

今後の研究成果の還元方法

（1）『春野のむかしばなし』（伊藤優華・藤井優・吉髙里編著、二本松康宏監修、三弥井書店、2019年3月）を刊行
（2）『春野の昔話と伝説』（亀本梨央・川口璃穏・柴田俊輔編著、二本松康宏監修、三弥井書店、2020年3月）を刊行
（3）『北遠の災害伝承ー語り継がれたハザードマップー』（青木ひめの・青島萌果・小川日南・川嶋結麻・米川沙弥・松井佐織編著、二本松康宏監修、三弥井書店、2021年3月）を刊行
（4）『春野の山のふしぎな話』（小田ありさ・奥村宗明・澤田駿佑編著、二本松康宏監修、三弥井書店、2022年3月）を刊行